



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 日東工器株式会社

コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小武 尚之

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 森 憲司

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,044	15.7	979	68.4	1,010	66.7	653	99.4
23年3月期第1四半期	5,224	13.2	581	309.9	606	208.3	327	231.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 895百万円 (165.5%) 23年3月期第1四半期 337百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	30.74	—
23年3月期第1四半期	15.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	44,379	37,764	84.7	1,769.15
23年3月期	44,220	37,222	83.8	1,744.05

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 37,592百万円 23年3月期 37,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	16.50	24.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,200	11.0	1,820	36.0	1,860	35.5	1,200	44.3	56.47
通期	24,200	6.9	3,380	20.0	3,480	19.8	2,210	38.4	104.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P3「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	21,803,295 株	23年3月期	21,803,295 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	554,603 株	23年3月期	554,589 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	21,248,704 株	23年3月期1Q	21,248,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続き対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災による深刻な状況を抜け出して浮揚する兆しを見せ始めました。これは部品のサプライチェーンの復旧や消費マインドの回復などによるものですが、その半面で電力不足に対する懸念が東日本だけでなく西日本にも広がっています。一方、海外に目を転じると、米国における連邦債務や雇用問題、ユーロ圏諸国の財政危機再燃、中国でのインフレ抑制と経済成長の両立、といった難問を抱えており、世界的に景気の不透明感が増しています。こうした不安要因が円高を誘導し、日本の輸出の先行きに大きな影響を及ぼしています。

このような国内外市場の経営環境の中で、当社グループは国内生産の持ち直しとアジア市場の需要増加に支えられ、売上は前第1四半期連結累計期間比15.7%の増加となりました。利益については、売上高の増加と昨年からのコストダウンや経費削減効果によって大幅な増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は60億44百万円となり、前第1四半期連結累計期間52億24百万円と比較すると15.7%の増収となりました。営業利益は9億79百万円となり、同5億81百万円と比較すると68.4%の増益、経常利益は10億10百万円となり、同6億6百万円と比較すると66.7%の増益、四半期純利益は6億53百万円となり、同3億27百万円と比較すると99.4%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内は半導体業界および自動車業界の設備投資需要の回復、海外では自動車、空調向けの設備投資需要回復によって、売上高は24億64百万円（前第1四半期連結累計期間比18.8%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加とコストダウン効果によって、セグメント利益4億65百万円（同92.2%の増益）となりました。

機械工具事業は、国内・海外ともに鋼材加工用の工具と刃物の需要が回復し、売上高は21億30百万円（同15.9%の増収）となりました。利益面では、経費削減とコストダウン効果によって、セグメント利益2億82百万円（同83.4%の増益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、国内は健康機器と浄化槽用のブロワの売上げが好調ですが、海外における医療機器組み込み用コンプレッサの需要減少によって、売上高は9億円（同5.8%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加、経費削減およびコストダウン効果によって、セグメント利益1億94百万円（同12.3%の増益）となりました。

建築機器事業は、国内の建設投資の低迷が続いているなかで、主力の中心吊オートヒンジが好調を維持し、売上高は5億48百万円（同19.3%の増収）となりました。利益面では売上げの増加によって、セグメント利益37百万円（同203.1%の増益）となりました。

海外売上高は、21億40百万円（前第1四半期連結累計期間比18.7%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は35.4%となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末の資産合計は、443億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億58百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は312億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億72百万円の増加となりました。これは主に、商品及び製品の増加3億8百万円、受取手形及び売掛金の増加3億6百万円および有価証券の減少2億99百万円、現金及び預金の減少2億56百万円等によるものです。

固定資産は、131億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して14百万円の減少となりました。

負債の部では、流動負債は、43億26百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億42百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税の減少7億78百万円、賞与引当金の減少2億56百万円、支払手形及び買掛金の増加5億75百万円等によるものです。

固定負債は、22億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して59百万円の増加となりました。これは主に、退職給付引当金の増加53百万円等によるものです。

純資産の部では、四半期純利益は6億53百万円でしたが、配当金の支払い3億50百万円があったため、利益剰余金は、3億2百万円の増加で356億74百万円となりました。また為替換算調整勘定が1億97百万円の増加、その他有価証券評価差額金が33百万円増加したため純資産の部は、377億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億41百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済環境をみると、東日本大震災で深刻な打撃を被った産業界は、部品のサプライチェーンが修復されるにつれ急速に生産を持ち直しています。全国各地の経済活動も正常化に向けた動きが着実に広がり、景気判断も上方修正されています。その一方で、中長期的には電力不足への懸念が解消せず、さらに海外経済変調の兆候と円高再燃などで輸出頼みに対する不安も台頭しています。

このような経営環境の中で、当社グループは、ボリュームが拡大し続け世界経済を牽引している新興国需要を積極的に取り込むため、海外展開を一層推進してまいります。また、中・長期的な観点から当社の得意な分野での研究に必要な経営資源を投入し、新製品および付加価値製品の開発に取り組んでまいります。

今後の業績につきましては、迅速流体継手事業は半導体および自動車業界向けなどの設備投資需要が牽引し、引き続き順調に推移するものと予想しております。機械工具事業は、現在回復基調にある鋼材加工用工具と刃物のさらなる需要増が見込まれます。リニア駆動ポンプ事業は医療機器分野の底堅い需要がこれからも続くものと予想しています。なお、建築機器事業はまだしばらくは国内建築投資の低迷が続くものと予想しています。

以上、これらの状況と第1四半期の実績を踏まえ、平成23年5月10日に発表した第2四半期（累計）と通期の業績予想値を上方修正いたします。

業績予想の前提となっている為替レートにつきましては、米ドルおよび英ポンドの大幅な為替変動により、想定レートを1米ドル77.5円、1英ポンド125円に見直しました。なお、1ユーロ110円、1タイバーツ2.70円、100韓国ウォン8円、1豪ドル75円につきましては前回発表した為替レートから見直をしておりません。

また、当期の利益配分につきましては、今回の業績予想値の上方修正を勘案し、平成23年5月10日に発表した配当予想を中間配当、期末配当それぞれ16円、年間32円に修正（増配）いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
第2四半期（累計）	12,200	1,820	1,860	1,200
通 期	24,200	3,380	3,480	2,210

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,238	16,981
受取手形及び売掛金	5,581	5,887
有価証券	2,999	2,699
商品及び製品	2,538	2,847
仕掛品	177	178
原材料及び貯蔵品	1,625	1,656
繰延税金資産	696	724
その他	228	277
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	31,073	31,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,647	9,660
減価償却累計額	△4,197	△4,290
建物及び構築物(純額)	5,450	5,369
機械装置及び運搬具	2,727	2,780
減価償却累計額	△2,158	△2,213
機械装置及び運搬具(純額)	568	566
工具、器具及び備品	5,439	5,504
減価償却累計額	△4,954	△5,016
工具、器具及び備品(純額)	485	487
土地	4,072	4,076
リース資産	323	349
減価償却累計額	△77	△91
リース資産(純額)	245	257
建設仮勘定	35	39
有形固定資産合計	10,858	10,796
無形固定資産		
その他	147	153
無形固定資産合計	147	153
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020	1,081
長期貸付金	178	179
繰延税金資産	707	681
その他	250	256
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,141	2,183
固定資産合計	13,147	13,133
資産合計	44,220	44,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,948	2,523
リース債務	54	59
未払法人税等	1,115	337
賞与引当金	526	269
役員賞与引当金	12	—
その他	1,111	1,135
流動負債合計	4,768	4,326
固定負債		
リース債務	191	198
退職給付引当金	1,681	1,734
役員退職慰労引当金	168	176
資産除去債務	25	25
その他	163	154
固定負債合計	2,229	2,288
負債合計	6,998	6,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,925	1,925
利益剰余金	35,371	35,674
自己株式	△916	△916
株主資本合計	38,231	38,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123	157
為替換算調整勘定	△1,296	△1,098
その他の包括利益累計額合計	△1,172	△941
少数株主持分	163	171
純資産合計	37,222	37,764
負債純資産合計	44,220	44,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,224	6,044
売上原価	2,703	3,053
売上総利益	2,520	2,991
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	557	572
賞与引当金繰入額	124	148
退職給付費用	56	59
役員退職慰労引当金繰入額	8	7
販売促進費	146	158
研究開発費	208	183
その他	838	881
販売費及び一般管理費合計	1,939	2,012
営業利益	581	979
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	9	12
受取家賃	9	11
その他	22	14
営業外収益合計	57	58
営業外費用		
売上割引	18	20
為替差損	14	1
その他	0	4
営業外費用合計	33	27
経常利益	606	1,010
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	—
減損損失	6	—
退職給付費用	115	—
災害による損失	—	17
その他	0	—
特別損失合計	139	17
税金等調整前四半期純利益	467	993
法人税等	140	337
少数株主損益調整前四半期純利益	327	655
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	2
四半期純利益	327	653

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	327	655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	33
為替換算調整勘定	68	206
その他の包括利益合計	10	240
四半期包括利益	337	895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330	884
少数株主に係る四半期包括利益	7	11

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	2,075	1,838	851	459	5,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,075	1,838	851	459	5,224
セグメント利益	242	153	173	12	581

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	2,464	2,130	900	548	6,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,464	2,130	900	548	6,044
セグメント利益	465	282	194	37	979

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。